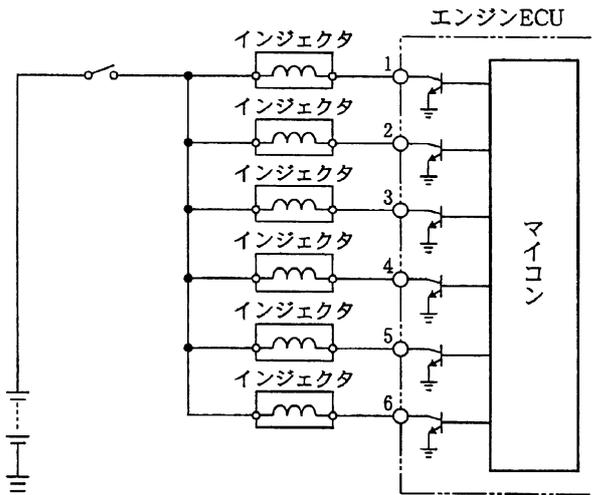


[No.14] 「エンジン警告灯は無点灯であるがエンジンが不調である」ときの自動車の点検方法に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。ただし、ダイアグノーシス・コードは正常コードを示している。

図



- (1) エンジンが振れていたなので、パワー・バランスを実施し、不具合気筒の判別を行い、不具合気筒についてインジェクタの作動音、スパーク・プラグの火花、圧縮圧力を点検した。
- (2) インジェクタの作動音がないことから、イグニション・スイッチONでインジェクタのコネクタを外し、配線側で電源電圧を点検したところ、12Vであったのでインジェクタ単体の抵抗点検を行った。
- (3) インジェクタの作動音がなく、インジェクタ単体が正常であったことから、イグニション・スイッチON時のエンジンECU側端子電圧を点検したところ、12VであったのでエンジンECUの点検を行った。
- (4) エンジンECUのO<sub>2</sub> センサ信号の電圧点検を行ったところ、1V一定であったので、リーンの故障探求を行った。